

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、概ね良好であった。国語が「大切」「役に立つ」と考えている生徒が多い。	自分の考えをまとめて発信することについて、文章を書いたり、話したりする機会を多くし、まとめ、工夫する力の育成を図ることが必要である。
数学	「資料の活用」の問題では二つの度数分布多角形を適切に読み取り、問題の主張を裏付ける説明ができています。	文字式の計算の正答率が、あまり高くなく、基礎知識や計算処理能力に未だ課題がある。今後も、授業において、前時の復習、各単元の基礎知識の確認をより丁寧に行うとともに、演習の時間を多くとり、反復練習で知識を定着させる必要がある。また、ICT機器を活用し、理解を深め、一人ひとりの学習状況に応じた工夫も必要である。

質問紙	<p>「自分にはよいところがあると思うか」という問いについて肯定的な回答が多く、前回調査を大きく上回っている。自己肯定感の低さは本校の課題と言えるので道徳教育・グループワークや日頃の関わりの効果を検証し、日々のあたたかい学級、学校づくりを継続していく。</p> <p>1.2年生時のICT活用頻度は県や全国を大きく上回っている。また、ICTを活かして調べたことを積極的に発表する姿が伺える。学びに向かう積極的な姿勢につながると思うので今後もICTを効果的に活用していく。「人の役に立つ人間になりたいか」「思っていることを言葉で表すことができるか」という点について肯定的な回答が少ない。控えめな姿は本校生徒の特徴であるといえるが、それぞれのもつよさを活かして積極的に表現する力を育てていきたい。</p>
-----	--

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・課題も含め多様な生徒一人ひとりに寄り添った支援をするために教職員、家庭、地域、外部機関等情報を共有し連携するチーム支援を行う。 ・主体的、対話的で深い学びの視点を意識し各教科、特別活動等で言語活動の充実等授業改善に取り組む。 ・「ICTを活用した学びの可能性を引き出す授業づくり」をテーマに各教科及び特別活動等でタブレット等を積極的に活用していく。実践を積み重ね効果を検証し生徒の成長に向けてよりよい活用方法を見出していきたい。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等ICTの効果的な活用等による学力の向上、道徳教育の推進等あたたかな人間関係づくり、安全でいじめのない環境づくりについてご家庭、地域と協力して取り組んで参ります。 ・各種たより、メール配信システム、ホームページ等を活用して保護者・地域の皆様へ情報を発信いたします。 ・学習面・生活面について、ご家庭でのご支援ご協力を引き続きよろしくお願ひいたします。
